

重要な取り組みである。妊娠から出産まで切れ目のない母子と子の不安の解消に向けた支援策について、本市の取り組みは。

答 妊娠中の方には、妊娠から出産、育児に至る知識を習得するための各種教室を実施し、平成22年度からは、健康増進課で保健師や助産師が個別面談により母子手帳を発行し、教室などの情報提供や相談を行い不安解消等に努めている。妊婦健診に関しては、平成21年度から1人当たり14回分の助成を実施し、出産後は、出生連絡票により早期から母子の状況を把握し、新生児訪問やこんにちは赤ちゃん事業などに繋げている。

問 不妊治療への助成制度として、体外受精と顕微受精による特定不妊治療については、県の助成があるが、一般の不妊検査や不妊治療、人工受精に対する助成制度はない。本市の一般の不妊治療と不育症に対する周知と経済的支援体制についての考えは。

答 一般不妊治療には、県内では4自治体が助成制度を設けている。不妊相談については、県医師会に委託し不妊相

談センターで相談を受けており、電話相談としては、奈良県妊娠なんでも110番等がある。本市としては、他の政策事業との優先度や兼ね合いを勘案し、国や県の動向を注視し、情報収集に努めて慎重に対応・対処したい。

問 平成27年4月から子ども・子育て支援法が施行される。不妊症治療や不育症に対する助成導入も子育て支援の一環であると思う。少子化対策の取り組みとして前向きに検討してもらいたい。昨年の質問時には、不妊治療は約3400万円、不育症は約100万円、合計約4500万円の子算措置が必要との回答であったが、助成に対する市長の考えは。

答 治療の技術は常に進化進歩しているが、受け皿とする医療機関や専門家等を含め、本県は、まだ後進県だと考えている。様々な状況や環境を考えて進めるべきであり、もう少し時間が必要だと思う。

問 女性の安心・安全を確保するための取り組みとして、本市におけるDVや、ストーカー行為に悩んでいる被害者に対する救済措置と、実態は。

答 ナビプラザ4階で、女性のための相談窓口として、女性のフェミニニストカウンセラーによる「女性のための面接相談」、「女性相談員による電話相談」を実施している。4月からは女性センターなどで相談経験がある指導員2名を採用し、相談日以外の対応にも当たっている。窓口でのDV相談件数は11月末現在で65件あり年々増加している。相談後の支援は、被害者の身体、生命を守ることを最優先に、実態に応じ関係機関へと繋げ被害者保護に努めている。子どもの面前でのDVについては、児童虐待の精神的虐待に該当するため、子育て支援課が担当し、非常勤の相談員4名と職員が連携し対応している。11月末現在で6件の相談がある。警察に通報があったケースで、市に調査依頼があったのは11月末現在では10件ある。

問 全国では、危険ドラッグが原因で亡くなられた方は前年の10倍以上で深刻な事態となっている。また、低年齢化しており、薬物乱用防止教育の実施が重要と考えるが、本市の現況と対策は。

答 青少年センターでは、直接指導するような体制ではないが、乱用防止の啓発の会議や研修の場として啓発・周知に努めており、より一層周知・啓発に努めたい。

問 薬物乱用防止教育は、学校教育でも取り組みを進めてもらいたい。

答 喫煙・飲酒とともに薬物乱用の害については、小学校6年生の3学期に重点的に取り組んでいる学校が多く、教科書に加え、DVDの活用や校医や薬剤師を招き取り組んでいる。また、平成27年度から使用する保健の教科書には、喫煙や飲酒、薬物の誘いに対し断る方法を学ぶページもある。中学校では、依存症や死

問 平成25年12月に、クリーンセンターの包括業務委託について、この委託をすれば年間2億円、10年間で20億円の節約となるため、是非とも委託をしたいたとの説明を受け、その時「10年間は少し長過ぎるのでは、5年間でどうか」と尋ねたが、「10年を続けてやってこそ20億円の節約になる」との説明であった。年間2億円の節約となると、月当たり1,600万円程度の節約になるが、節約の主な要素は何か。

答 死亡との関係、社会への悪影響等を学習し、現在使用の教科書には、危険ドラッグ等については「形や名前を変えて近づくと薬物」という形で記載されている。教職員や保護者対象の研修会や、生徒向けの授業の充実に向けての研修も行っていきたい。

問 包括委託業務と指定管理者制度の在り方と今後

答 包括委託業務と指定管理者制度の在り方と今後



ナビプラザ4階 市民相談広場

一般質問
櫻本 利明
 (真政会)

包括委託業務と指定管理者制度の在り方と今後

問 平成25年12月に、クリーンセンターの包括業務委託について、この委託をすれば年間2億円、10年間で20億円の節約となるため、是非とも委託をしたいたとの説明を受け、その時「10年間は少し長過ぎるのでは、5年間でどうか」と尋ねたが、「10年を続けてやってこそ20億円の節約になる」との説明であった。年間2億円の節約となると、月当たり1,600万円程度の節約になるが、節約の主な要素は何か。